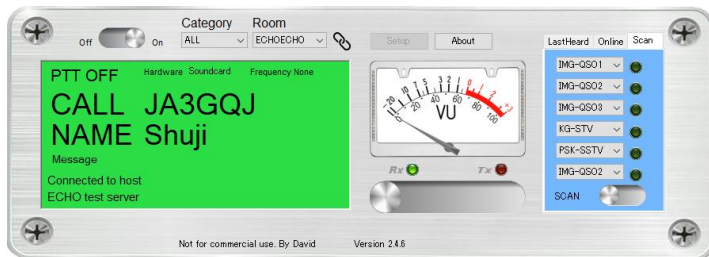


2023

Peanut で 画像通信



Peanut は非常に多機能なアマチュア無線局向けのインターネット通信ソフトだと思う。音声による通話はもちろんアナログ SSTV やデジタル SSTV の信号、FT8,MSK144,Q65 モード等の微弱信号の文字通信や msfk, bpsk, rtty, GMSK 等の文字通信ソフトで画像交換用の定型文を使って画像交換も出来る事を画像通信愛好家が見つけた。

Windows パソコンと Android スマホのソフトがある。iPad, iPhone や Linux 用のソフトもあるようだ。

以下、Windows10 で Peanut を使用した画像交換 QSO の体験レポートを纏めた。

目次

Peanut で使用する画像通信用ソフトとモード	2
FTP サーバーも必要 → 別冊「画像通信に必要な TP サーバーについて」を参照	3
DigiSites も必要 → 別冊「画像通信に必要な TP サーバーについて」を参照	3
2. Peanut の設定	3
2-1 Peanut に必須のコード番号の取得 (Peanut Registration)	4
2-2 設定項目の入力	5
User Info フレーム (枠)	5
General フレーム (枠)	6
Sound Card フレーム (枠)	6
GPS (DMS format) フレーム (枠)	7
3. パソコンのサウンドカードの調整	7
4. 音声の受信	8
5. 音声の送信	10
・ PPT を使った送信	10
・ VOX を使った送信	10
6. 画像の受信	11
7. 画像の送信	13
7-1 Image Controller Easy Simple と各ソフトを組み合わせた画像の送信	13
7-1-1 Vari image Front(モードは GMSK か msfk-U)との組み合わせ	13
7-1-2 JTDX(モード FT8)との組み合わせ	13
7-1-3 MMSSTV・YONIQ との組み合わせ	13
7-1-4 EZPix(モード GMSK)単独の画像の送信	14
8. VOX 機能を使った画像送信	14
APPENDIX-1 ソフトのインストール	15
APPENDIX-2 Window10 のサウンドデバイスの確認。	19
APPENDIX-3 DMR id の取得	22

Peanut で使用する画像通信用ソフトとモード

Peanut は音声による通話以外に、CQ-100 などのインターネット用会話ソフトで MSSTV の運用経験がある愛好家達がアマチュア精神を発揮して表-1 のようなモードでも画像交換の運用が出来る事を見つけた。

ソフト	モード
Vari Image Front	rtty-L, msfk-U, bpsk, GMSK
EZ Pix	GMSK (FSK-W)
MMSSTV・YONIQ	MMSSTV・YONIQ
JTDX/WSJTX	FT8 / msfk-144, Q65
JS8CALL	JS8CALL
Image controller Easy Simple	Vari Image Front、 MMSSTV・YONIQ、 JTDX/WSJTX、 JS8CALL をコントロールする

表-1

Image controller Easy Simple は画像通信の要

Image controller Easy Simple は JQ1HDR 大和さんが開発したソフトで複数の画像通信ソフトをコントロールする画像通信の要であると認識してつぎの URL の大和さんのホームページにある説明を熟読した。[EasyPal HTML and PSK HTML \(cocan.jp\)](http://EasyPal HTML and PSK HTML (cocan.jp))



設定画面



受信画像表示画面

FTP サーバーも必要 → 別冊「画像通信に必要な TP サーバーについて」を参照
DigiSites も必要 → 別冊「画像通信に必要な TP サーバーについて」を参照

Image Controller Easy Simpleと組み合わせて画像通信に使うソフト



EZ Pix と MMSSTV・YONIQ は単独でも Client Peanut と組み合わせて運用できる。

Peanut のルームと運用モード

2023/05 現在、Peanut には無線で言うチャンネル周波数にあたるルームが 212 ある。そのうち表-2 の三つのルームは JQ1HDR 大和さんをはじめ画像通信愛好家が Peanut の作者のデイビットさんに依頼して会話もできる画像交換専用のルームにしてもらった。次の表はそのルームと使用可能モードをまとめたものである。Peanut では画像信号を送りながら会話ができることも魅力だ。

ルーム名	使用可能モード
IMG-QSO1	FT8, JS8CALL, msfk-144, Q65, 音声
IMG-QSO2	rtty-L, msfk-U, bpsk, GMSK (FSK-W), 音声
IMG-QSO3	MMSSTV/MMSSTV・YUNIG、音声

表-2

1. ソフトのダウンロードとインストール

巻末の APPENDIZ を参照してダウンロードとインストールを済ませる。

2. Peanut の設定

インストール終了 → 図 1-1 のアイコンがデスクトップに出来る → クリック → ※1

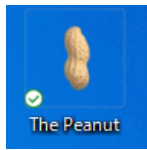


図 1-1

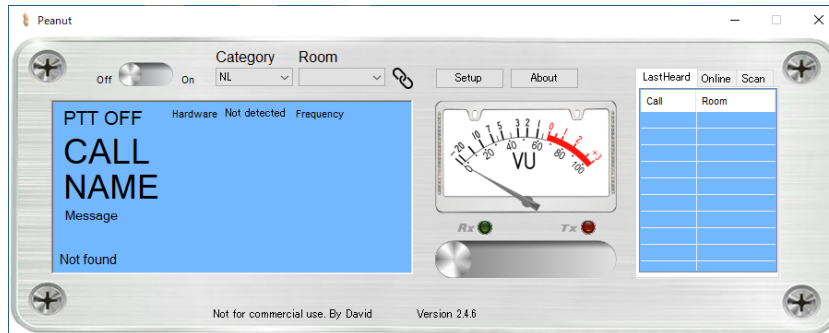


図 1-2

※1 → 図 1-2 の画面がポップアップ → 「Setup」をクリック → 設定画面（図 1-3）がポップアップ。

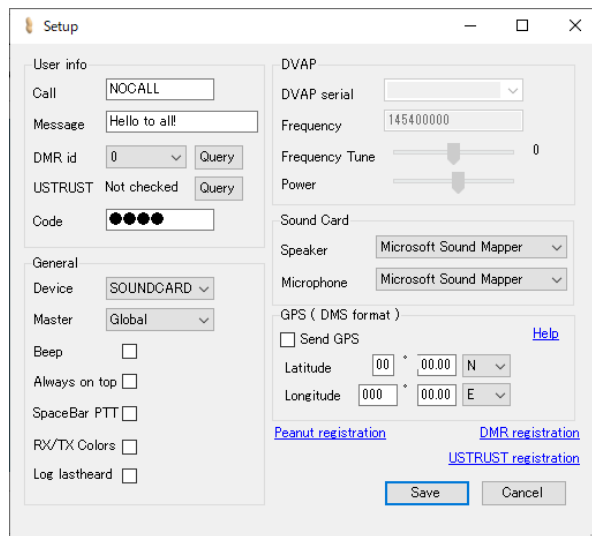


図 1-3

2-1 Peanut に必須のコード番号の取得 (Peanut Registration)

設定画面（図 1-3）の Peanut Registration をクリック → 別のページ（図 1-4）が開く → ページを右クリックして日本語表示に変える（図 1-5） → 必要事項を記入して行く → コールサインを入力しようとする → 英文のコメントが出る（図 1-6） → JA 向けのコード番号は JA の窓口でメールをして取得する必要があるらしい。

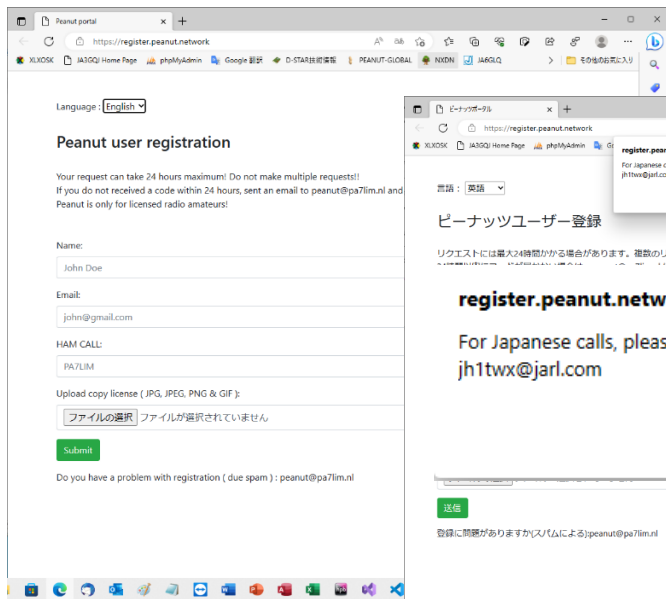


図 1-4

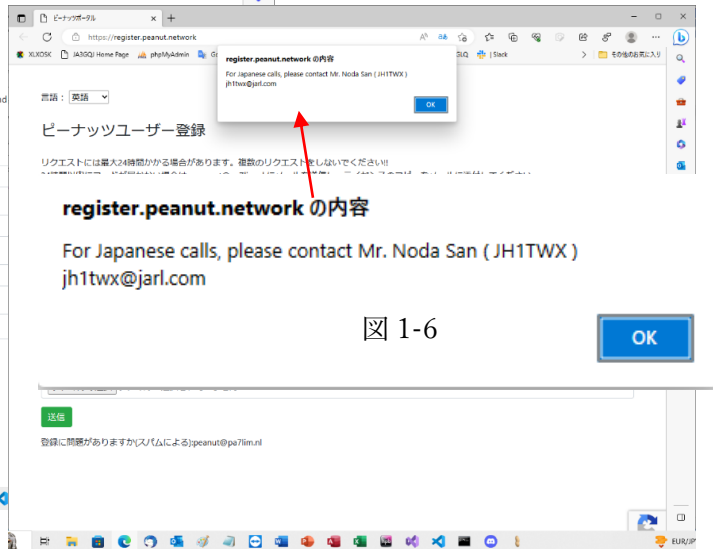


図 1-5

2-2 設定項目の入力

図 1-7 は図 1-3 の空欄に入力した私のデータである。

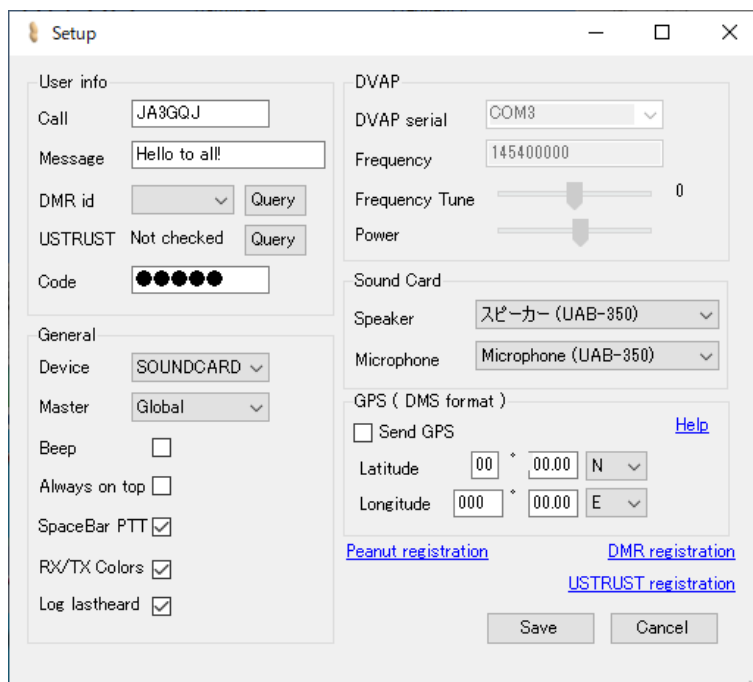


図 1-7

User Info フレーム (枠)

Callsign = 自分のコールサインを入力。

Message = デフォルトでよい。

DMRid = 登録しなくても画像通信には影響しない。登録済みの場合は「Query」ボタンをクリックすると自動的に7桁の数字が入る。

USTRUST Not checked = 登録しなくても画像通信には影響しない。登録済みの場合は「Query」ボタンをクリックすると「Not checked」が「Found」に変わる。
USTRUST とは JARL の D-star 用サーバーのデーターを定期的を送っているアメリカにある USTRUS (ユエストラスト) サーバーのことらしい。(詳しくは JARL 関連のウェブページで)

Code = 登録は必須なので、メールで届く5桁の番号を入力。

General フレーム (枠)

Device = SOUND CARD と DVAP の2種類のデバイスがあるが私は DVAP を使わないので SOUND CARD を選択。

Master = プルダウンメニューで Global, Japan, USA の三つのグループが選択できる。
IMG-QSO1、IMG-QSO2、IMG-QSO3 のルームがあるのは Global である。

Beep = チェックマークを付ける

Always on top = チェックマークを入れると操作画面を常にパソコン画面の前面に表示。

Space Bar PTT = チェックマークを入れるとマウスに代わってスペースキーが PTT スイッチになる

RX/TX Colors = チェックマークを入れると送信時に操作画面の窓が赤くなる。

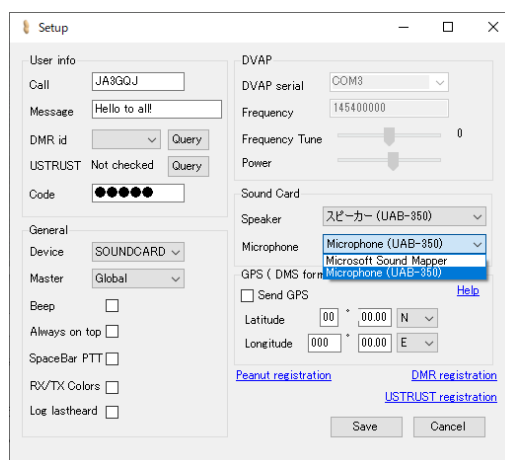
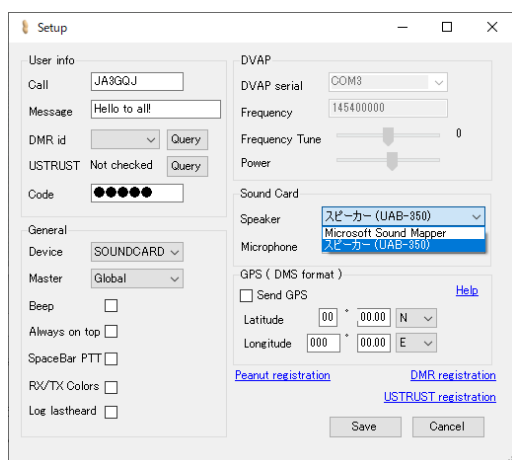
Log Last heard = チェックマークを入れると最後に聞いた局を記録する

DVAP フレーム (枠)

私は DVAP を使わないのでここはノータッチでデフォルト。

Sound Card フレーム (枠)

Speaker = プルダウンメニューで使用しているパソコンのサウンドカードデバイスを選択する。サウンドデバイスについては7ページの「サウンドカードの調整」を参照。



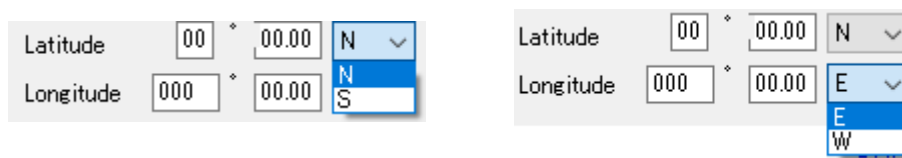
GPS (DMS format) フレーム (枠)

Send GPS = チェックマークを付けると自分の緯度、経度が送信されて地図上に
自局の位置が表示されるらしい

Latitude = 度. 分. 秒の形式で自分の緯度を入力する。

Longitude = 度. 分. 秒の形式で自分の経度を入力する。

各項目が N の時は北緯で S の時は南緯 E の時は東経で W の時は西経の数字を入れる。



The image shows two sets of input fields for GPS coordinates. The left set has Latitude (00.00 N) and Longitude (000.00 S) fields. The right set has Latitude (00.00 N) and Longitude (000.00 E) fields. The dropdown menus are open, showing the selected option and the other available options.

私は、ここはノートタッチで、全項目をデフォルトとした。

図 1-7 の Help をクリックしたら図 1-8 のように peanut-windows-gps-help のページが開く。
ページを右クリックして日本語表示にする。

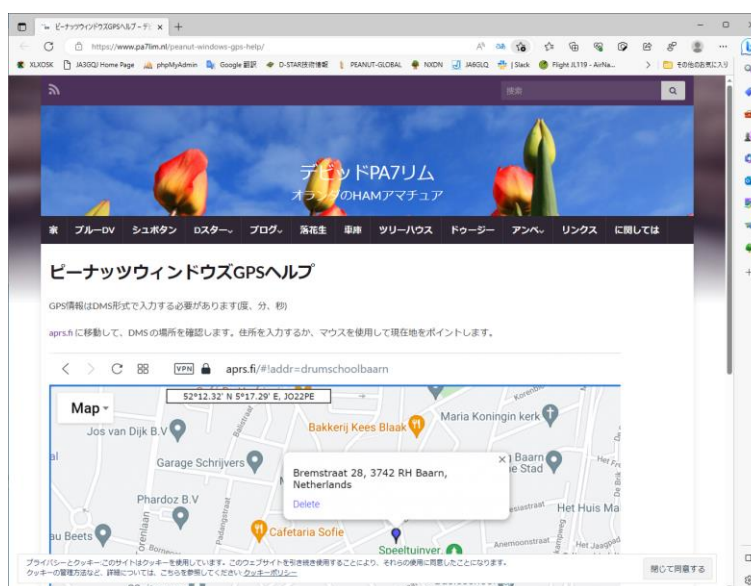


図 1-8

DMR Registration = DMR id の取得は、私が以前に取得した方法からずいぶん変わって
いるので巻末 APPENDIX に「こうしたら出来るのでは」という感じで記録した。

USTRUST Registration = 以前、ハムラジオアウトレットで D-Star 関連商品を購入した時
店長が気を利かしたのか勝手に登録されていた。Peanut の運用も D-Star との関係がある
ようだが画像交換にはなくてもよいので登録方法については省略する。

以上で「Save」ボタンをクリックして設定完了。一旦 Peanut を終了する。

3. パソコンのサウンドカードの調整

サウンドカードのマイク端子に 1,000 円前後のパソコン用マイクロホンを着 →

デスクトップのピーナッツのアイコンをクリック → 設定の終わった Peanut の操作画面がポップアップ → **Category**(カテゴリー)のプルダウンメニューで「ALL」を選択 → **Room**(ルーム)のプルダウンメニューで「ECHOECHO」を選択 → PTT を On → 操作画面の窓の色が水色から赤に変わる(図 2-1) → マイクに向かって声を出す → VU メータの針が赤色のゾーンに入らないように APPENDIX2「Windows10 のサウンドデバイスの確認」を参考にサウンドカードのマイクゲインを調整する → PTT を Off → Peanut から音声が出てくる → 操作画面の窓の色が赤からグリーン(図 2-12)に変わる → サウンドカードのスピーカーの音量を適度に調整する。

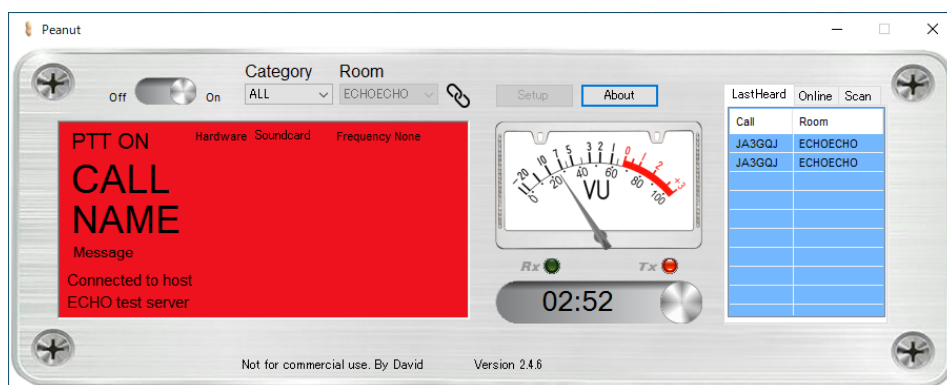


図 2-1

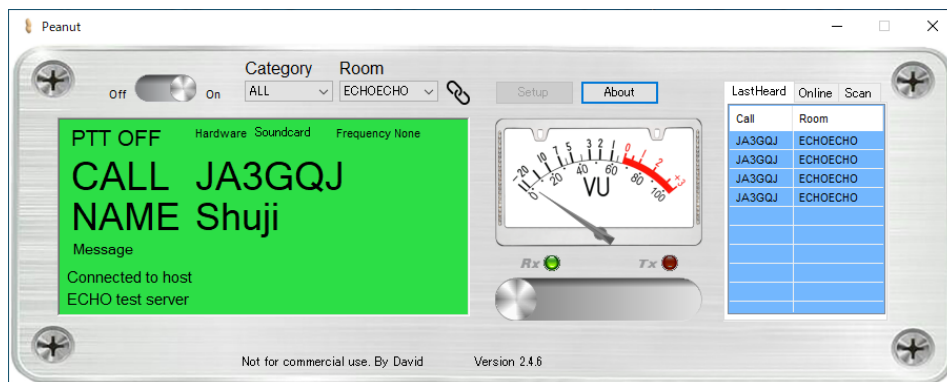


図 2-2

4. 音声の受信

[PEANUT-GLOBAL \(pa7lim.nl\)](http://pa7lim.nl) をクリック → ピーナッツグローバルのダッシュボードが開く → ページの中ほどに「ACTIVEQSO」のリスト(図 3-1)がある → そのリストの Room 名を Peanut の操作画面の「Room」のプルダウンメニューで選択 → Peanut の操作画面の窓の色がブルーからグリーンに変わって(図 3-2) QRV 局の音声聞こえる → 「LastHeard」タグ(図 3-3)に送信局のコールサインが表示される → VU メータの右側の「Online」タグ(図 3-4)をクリック → 現在、接続(または QRV)している局のリストが表示されている

ACTIVE QSO'S

CALL	MESSAGE	ROOM	TIME
DC0PC	Peter	XRF021B	00:05
F4KNF		YSF-FRA	00:24
4F0X		YSF-FREE	00:00
CX1DDS		ECHOECHO	00:01
DX1CC		DMR4107	00:00
M0XDR		YSF-CQNW	01:00
N4PRB		YSF-AR	00:32
KN6SF		DMR51547	00:00
M0XNW		YSF-NWUK	01:43
ARAGON-R	ARAGON (ESPA?A)	URUGUA-L	01:39
ARAGON-R	SERVIDOR PEANUT	ARAGON-R	01:38
EA5DIF	Hello to all!	CW-TOR	00:12
EA7AAR		ASTUR	01:26

図 3-1

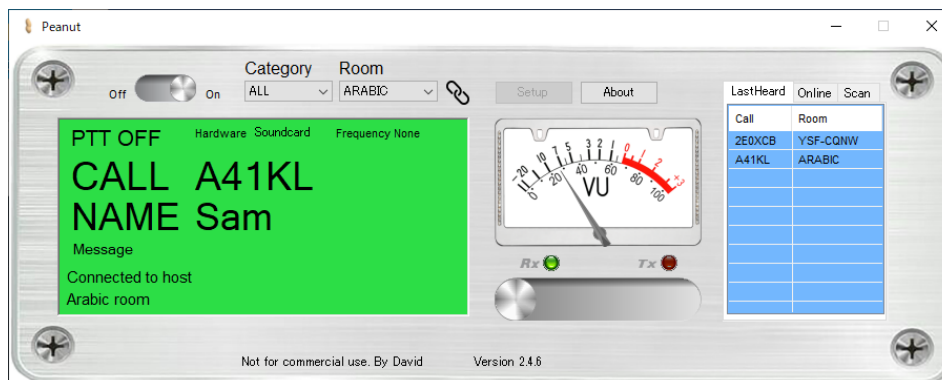


図 3-2

LastHeard	Online	Scan
Call	Room	
2E0XCB	YSF-CQNW	
A41KL	ARABIC	

図 3-3

LastHeard	Online	Scan
Call		
A41KL		
OD5KB		
JA3GQJ		

図 3-4

スキャン

「Scan」タグでは6つのルームを6秒くらいでスキャンする。それぞれプルダウンメニュー(図 3-5)でリストからルームを選択する。選択したルーム(図 3-6)に QRV 局が

いとそこで止まる。QSOが終わると再びスキャンが始まる。

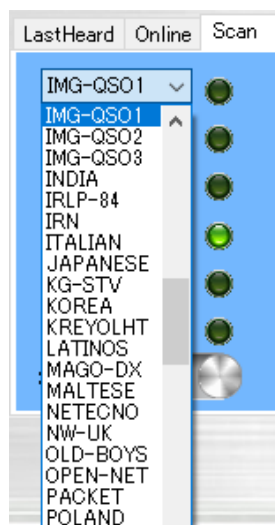


図 3-5



図 3-6

5. 音声の送信

・ PPT を使った送信

ルームを決める → マウスで図 3-2 の PPT スイッチ (VU メーターの下にある) を On にするかスペースキーを押して PPT スイッチを On にする → マイクに向かって話す。

・ VOX を使った送信

VOX 機能は画像通信愛好家のリクエストで誕生したものである VOX 機能はコントロールキーとファンクションキーF10 を同時に押す → 図 3-7 のような英文のコメントが出る → 「OK」 ボタンをクリック → 「Scan」 タグの右に「VOX」 タグ (図 3-3) が出来る

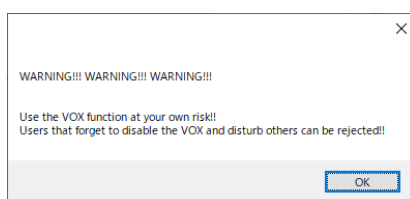


図 3-7

図 3-7 の英文のコメントは次のような大変厳しい内容の様だ。

「VOX 機能の使用は自己責任をお願いします！」
「VOX を無効にするのを忘れて他のユーザーに迷惑をかけたユーザーは (Peanut) の使用を拒否される可能性があります！」

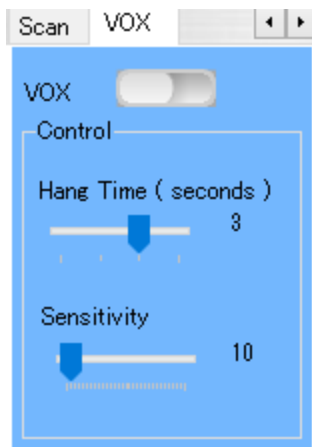


図 3-8

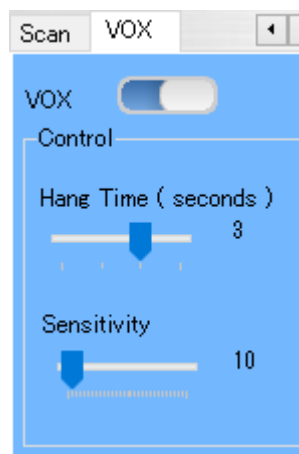


図 3-9

SCAN のスイッチ Off を確認 → VOX のスイッチを On (図 3-9) → Hang Time(seconds) 及び Sensitivity を調整して最適値を探す。

音声通話のみであればさほど VOX の必要性は感じないが、クリチカルな調整で最適値が見つければ画像通信には便利である。スキャン中は (SCAN スイッチ On の時) は VOX は作動しない (VOX スイッチは Off になる)。

6. 画像の受信

図-4-1 は Peanut と Controller Easy Simple 及び Digi-Site を使用して JTDX の FT8 で画像通信をするイメージである。JTDX を Vari Image Front、MMSSTV・YONIQ、JS8CALL、EZ Pix に置き換えて見る事で Peanut は音声に限らず非常に多くの画像通信ソフトに対応しているところに魅力を感じる。

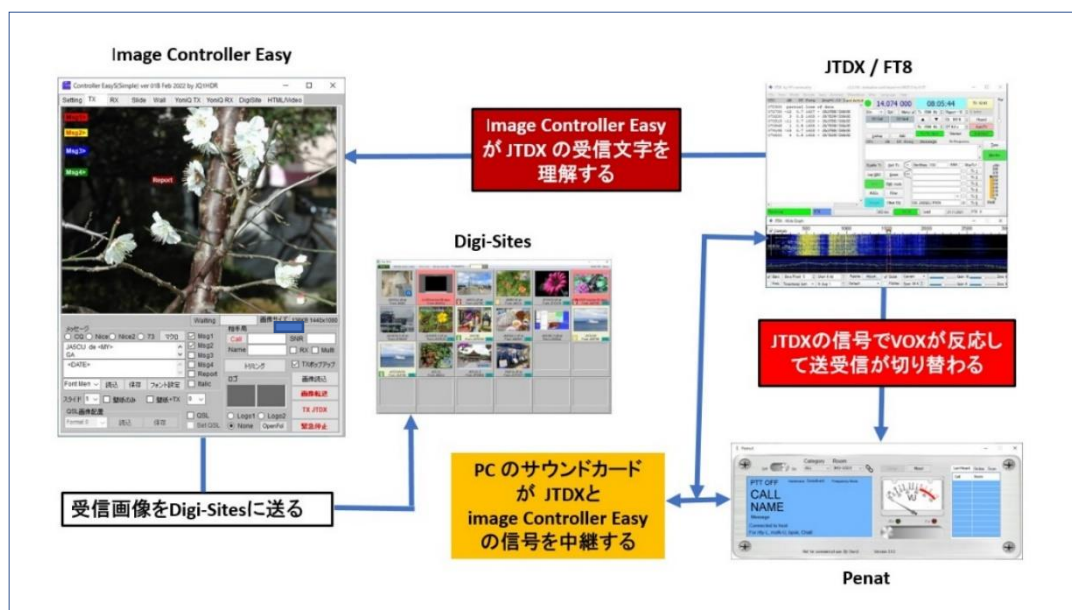


図-4-1

尚、EZ Pix、MMSSTV・YONIQ は単独で Peanut と組み合わせて運用できるが、他のソフトは Image Controller Easy Simple との組み合わせ運用が必須である。

画像信号のサウンドカード入出力処理

Peanut による画像通信は Peanut と画像（文字）通信ソフトがパソコンのサウンドカードを共有して動作する事、画像信号と音声信号を同時に送信しても問題がない等、トランシーバによるオンエア運用と異なるところに大きな特徴がある。

図-4-2 は画像信号のサウンドカード入出力処理回路のイメージある。画像（文字）信号のモードによってハード的な切り替えスイッチがなくても、スピーカーにマイクロホン近づけて画像の送受信が出来る場合があるが、安定した画像（文字）信号の送受信にはサウンドカードのマイク入力とスピーカー出力を電氣的に直結するほうが良いと思っている。

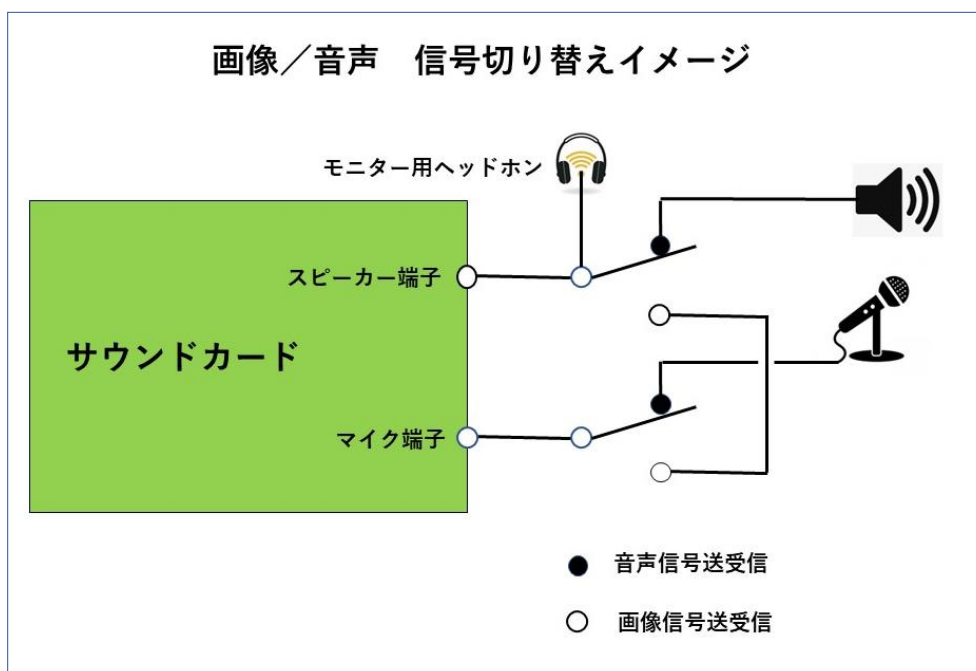


図-4-2

Image Controller Easy Simple と組み合わせた画像の受信

使用するソフトに対応した Peanut のルームを決める → ソフトの起動 → 音声信号の代わりに画像（文字）信号を待ち受ける → 画像は Image Controller Easy Simple の RX タグの画面に表示され、Digi-Site にもアップロードされる。

EZPix 単独での画像の受信

Peanut のルーム IMG-QS02 を選択 → EZPix を起動 → 画像（文字）信号を待ち受ける → 受信音が鳴る → 画像が「受信」タグの画面に表示される。EZPix の詳細は別冊「EZPix 使用体験記」にまとめた。

7. 画像の送信

7-1 **Image Controller Easy Simple** と各ソフトを組み合わせた画像の送信

次の 6-1-1 から 6-1-4 項はすべて Peanut の PTT を使って送信する。また、送信レベルの調整は 7 ページの 2-1.項 「サウンドカードの調整の要領」で終わっているものとする。

7-1-1 Vari image Front(モードは GMSK か msfk-U)との組み合わせ

このモードはマイク、スピーカーの直結をしたほうが良い。

Vari image Front のモードに対応したルームを選択 → Image Controller Easy Simple と Vari image Front を起動 → Image Controller Easy Simple の「TX」タグを選択 → 「画像読込」ボタンをクリック → 開いた画像保存ホルダーの送信対象画像をダブルクリック → 画像が「TX」タグの画面に貼りつく → マクロを使って画像に文字を入れる → 「画像転送」ボタンをクリック → 送信画像が拡大表示されて画像がサーバーに転送されたことを示す → Peanut の PTT オン → Vari image Front のモードに対応したファンクションキーをクリック → 送信開始 → 自動的に送信終了 → Image Controller Easy Simple の「On Air & Rx List」に受信局のコールサインが表示される → Peanut の PTT オフ → 受信スタンバイ

7-1-2 JTDX(モード FT8)との組み合わせ

このモードはマイク、スピーカーの直結不要

Peanut のルーム IMG-QSO1 を選択 → Image Controller Easy Simple と JTDX を起動 → Image Controller Easy Simple の「TX」タグを選択 → 「画像読込」ボタンをクリック → 開いた画像保存ホルダーの送信対象画像をダブルクリック → 画像が「TX」タグの画面に貼りつく → マクロを使って画像に文字を入れる → 「画像転送」ボタンをクリック → 送信画像が拡大表示されて画像がサーバーに転送されたことを示す → Peanut の PTT オン → JTDX の「Enable Tx」ボタンをクリック → 送信開始 → 自動的に送信終了 → Image Controller Easy Simple の「On Air & Rx List」に受信局のコールサインが表示される → Peanut の PTT オフ → 受信スタンバイ

7-1-3 MMSSTV・YONIQ との組み合わせ

このモードはマイク、スピーカーの直結をしたほうが良い。

Peanut のルーム IMG-QSO3 を選択 → Controller Easy Simple と MMSSTV・TONIQ を起動 → Controller Easy Simple の「Yoniq Tx」タグを選択 → 「画像読込」ボタンをクリック → 開いた画像保存ホルダーの送信対象画像をダブルクリック → 画像が「Yoniq Tx」タグの画面に貼りつく → マクロを使って画像に文字を入れる →

「画像作成」をクリック → 「to Yoniq」をクリック → 画像が MMSSTV・YONIQ の TX タグの画面に貼りつく → Peanut の PTT オン → MMSSTV・YONIQ の 「TX」 ボタンをクリック → 送信開始 → 送信終了 → 受信スタンバイ。

7-1-4 EZPix(モード GMSK)単独の画像の送信

このモードはマイク、スピーカーの直結不要

8. VOX 機能を使った画像送信

Peanut の VOX の調整が終わっていれば各ソフトの送信ボタンをクリックするだけで送信出来る。

APPENDIX-1 ソフトのインストール

ソフトは次の手順でインストールする。解凍ソフト「Lhasa.exe」が必要なのでインターネットで検索 → ダウンロードして事前にインストールする。

<https://software.pa7lim.nl/peanut/STABLE/>のページ (図1) を開く → ※1



図1

※1 → 図1で **Peanut-v2.4.5.zip** をクリック → 図2がポップアップ → 「開く」をクリック → 図3がポップアップ → 文字の上にマウスのカーソルを置く →

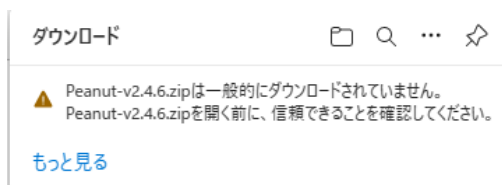


図3

※2 → 図4の画面に変わる → ゴミ箱アイコンの右の「・・・」をクリック → ※3

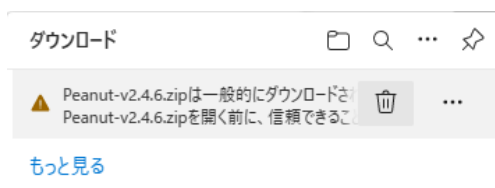


図4

※3 → 図5の画面がポップアップ → 「保存」をクリック → ※5

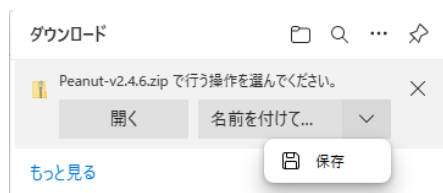


図5

※5 → 図6の画面がポップアップ → 「保存」をクリック → ※6

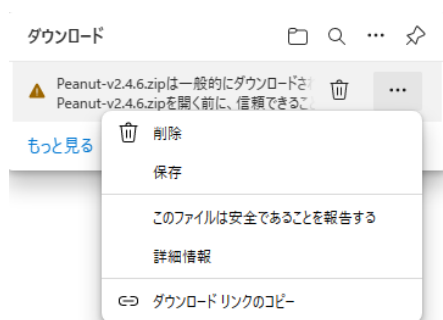


図6

※6 → 図7の画面がポップアップ 図8の画面がポップアップ → 「保持する」をクリック → ※7

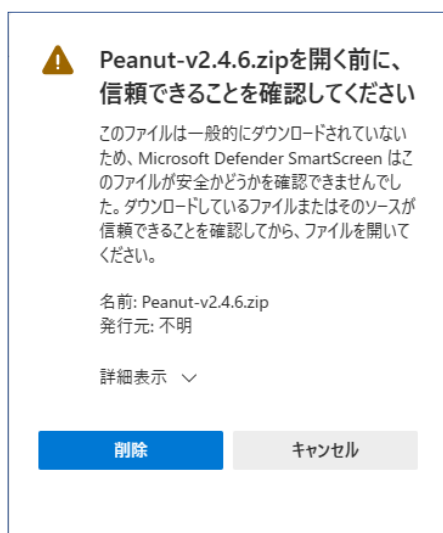


図7

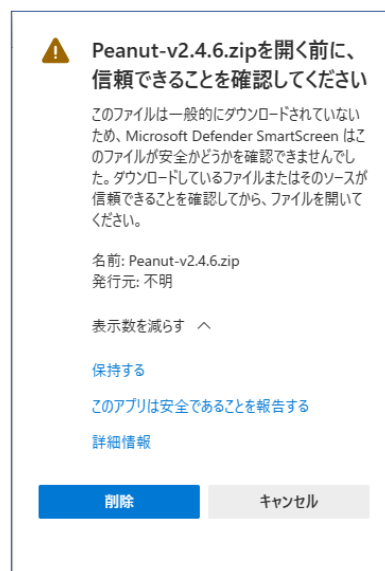


図8

※7 → 図9の画面が表示され → ダウンロードされて解凍された Windows インストーラーパッケージ「Peanut-v-2.4.6.exe」のあるフォルダーが開く (図10) → ※8

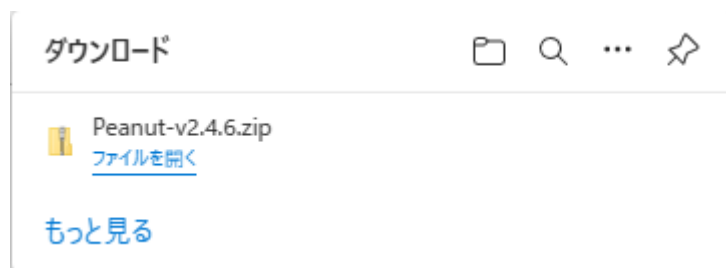


図9

※8 → 「Peanut-v-2.4.6.exe」を実行する → 図11の画面が表示される → 「詳細情報」

をクリック → 図 12 の画面に変わる → 「実行」をクリック → ※9

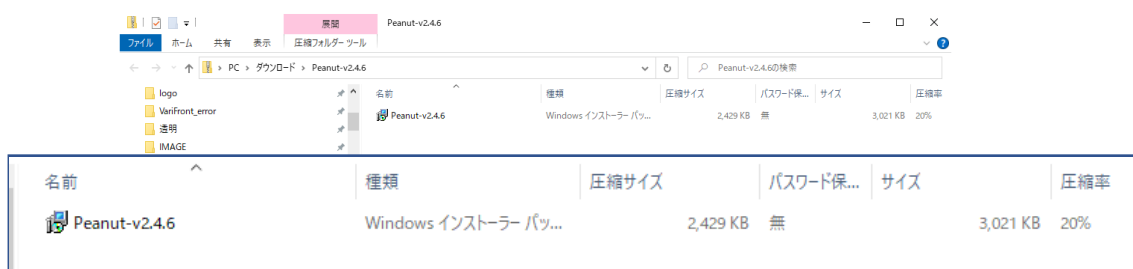


図 10



図 11



図 12

※9 → 「以下はガイドに従って手順を踏んで Peanut をインストールする事」という意味合いの英文が表示されている画面 (図 11) に変わる → 「Next」をクリック → インストール先は C:\Program Files(x86)\Peanut\Peanut de である旨の説明がある画面 (図 12) に変わる → 「Just me」を選択 → 「Next」をクリック → ※10

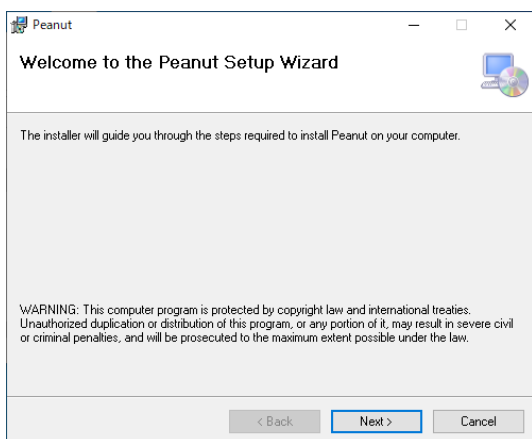


図 13

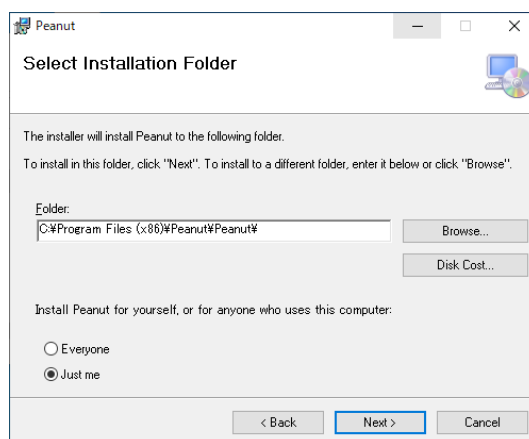


図 14

※10 → インストールの確認画面 (図 15) に変わる → 「Next」をクリック →

「ユーザーアカウント制御」画面（図 16）に変わる → 「はい」をクリック → ※11

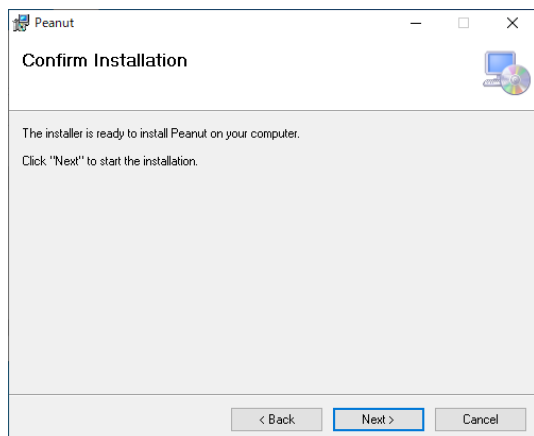


図 15

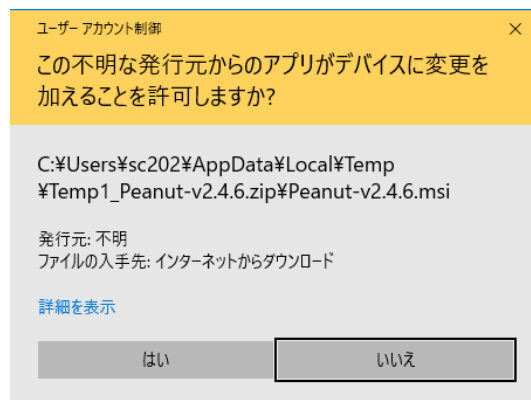


図 16

※11 → インストール進行中を示すプログレスバーが表示（図 17）され → 「Installation Complete」の画面（図 18）になってインストール完了

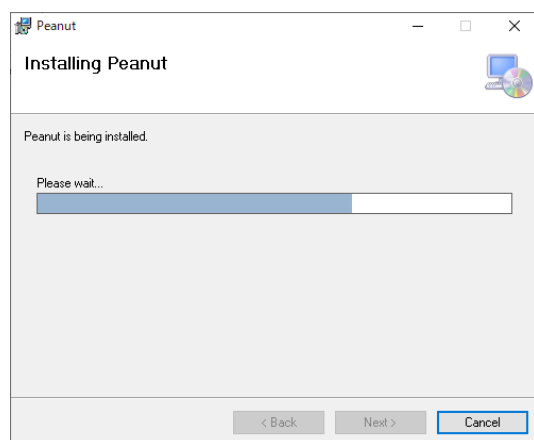


図 17

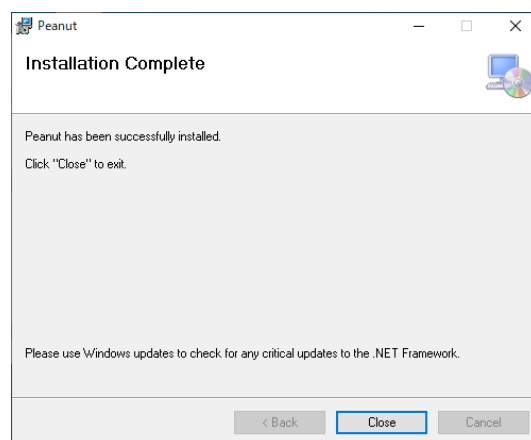


図 18

APPENDIX-2 Window10 のサウンドデバイスの確認。

デスクトップの右下のスピーカーアイコン (図 S-1) を右クリック → ※1

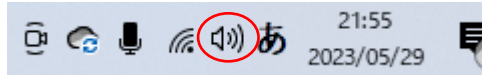


図 S-1

※1 → ポップアップする画面 (図 S-2) の「サウンド(S)」をクリック → ※2

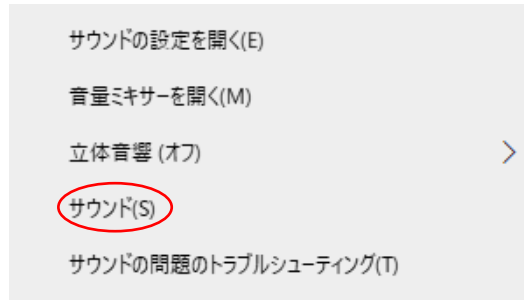


図 S-2

※2 → 次の画面 (図 S-3) が表示される → 「録音」タグを選択 → マイクデバイスが表示される (図 S-4) → チェックマークが入ったマイクアイコンが現在使用中のデバイスである → アイコンを右クリック → ポップアップ画面の「プロパティ」を選択 (図 S-5) → 「マイクのプロパティ」画面 (図 S-6) がポップアップ → 画面の「レベル」タグを選択 → 替わった画面のスライダーでレベル (ゲイン) を調節する → 「OK」ボタンで元に戻る → ※3

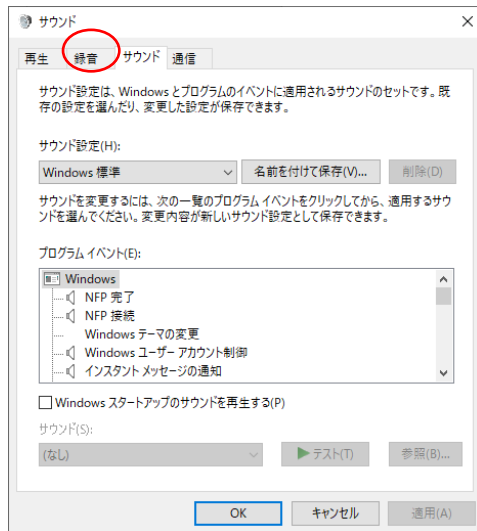


図 S-3



図 S-4



図 S-5



図 S-6

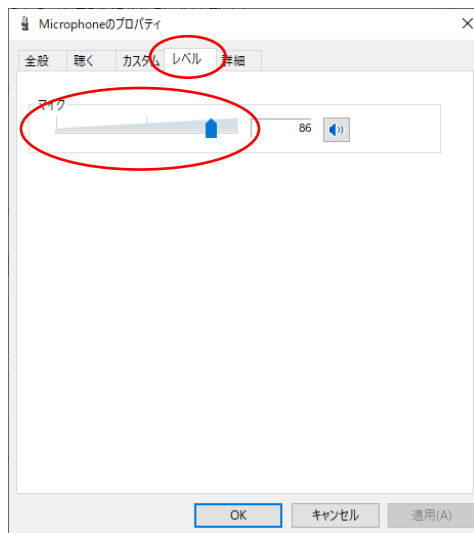


図 S-7

※3 → 「再生」タグを選択 → スピーカデバイスが表示される (図 S-8) →
 チェックマークが入ったスピーカアイコンが現在使用中のデバイスである → アイコ
 ンを右クリック → 図 S-9 がポップアップ → ポップアップ画面の「プロパティ」を
 選択 → →※4

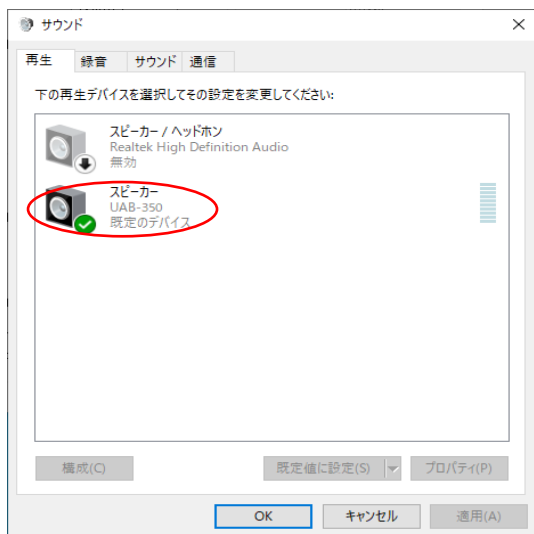


図 S-8

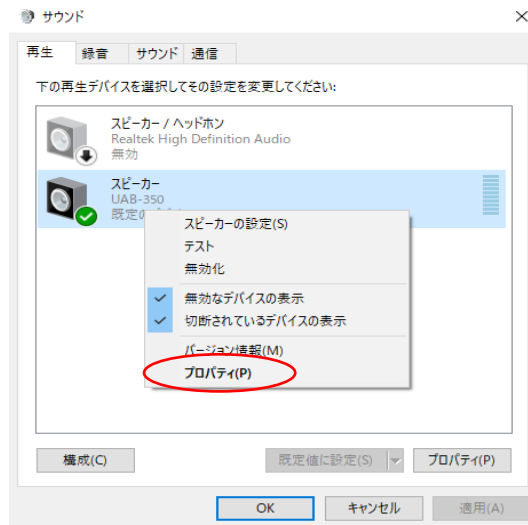


図 S-9

※4 → 「スピーカのプロパティ」(図 S-10) がポップアップ → 「レベル」タグを選択 → 替わった画面のスライダーでレベル(音量)を調節する(図 S-11) → 「OK」ボタンで図 S-3の画面に戻る → 「OK」ボタンでサウンドデバイスの確認終了

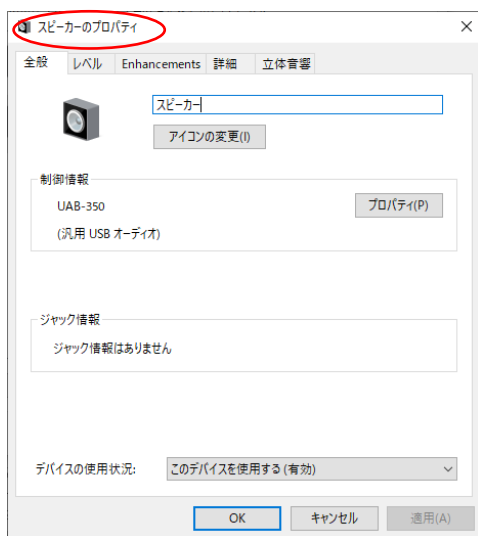


図 S-10

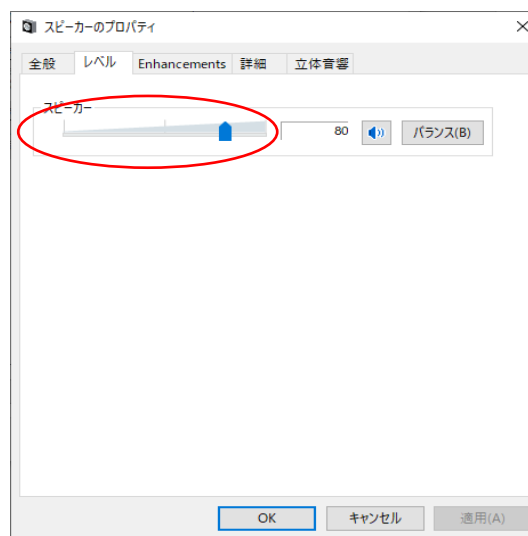
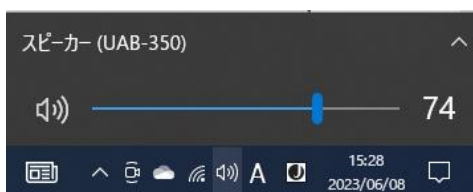


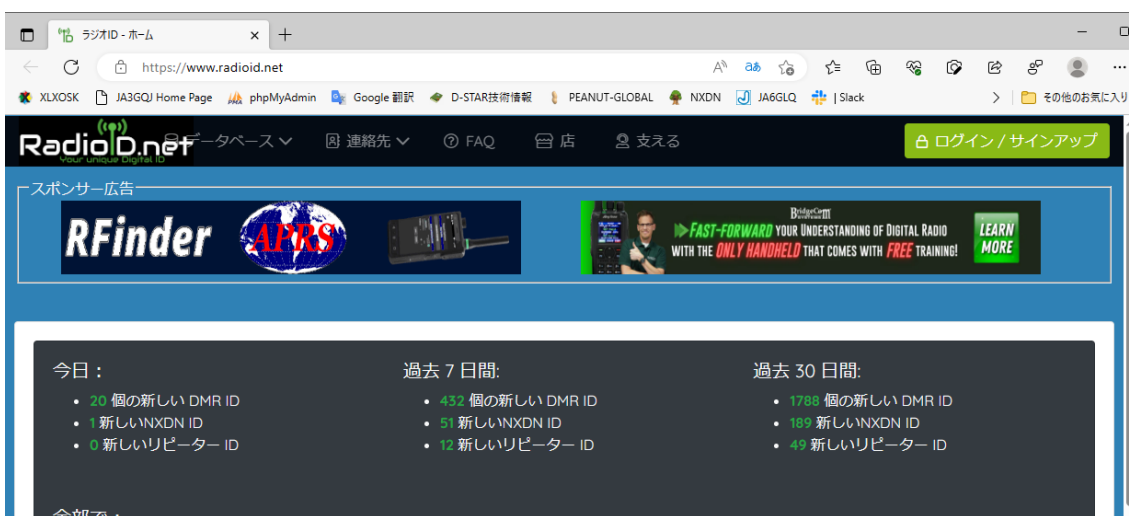
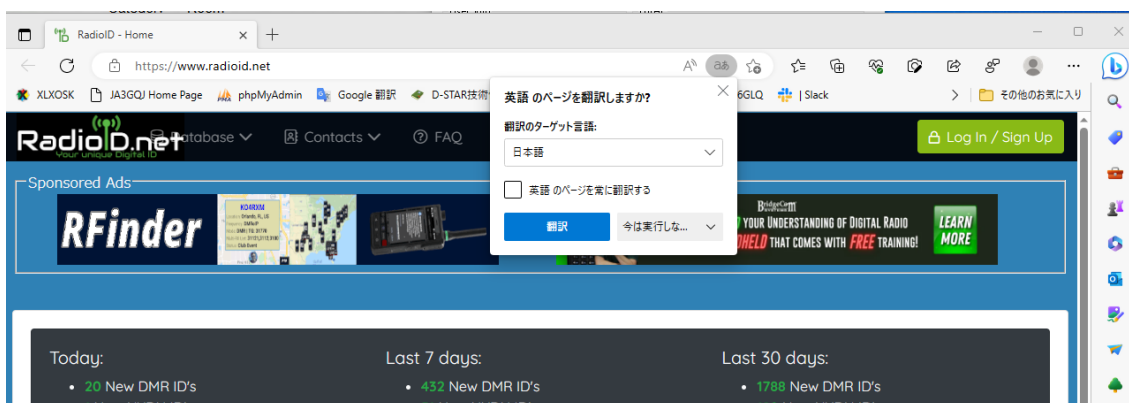
図 S-11

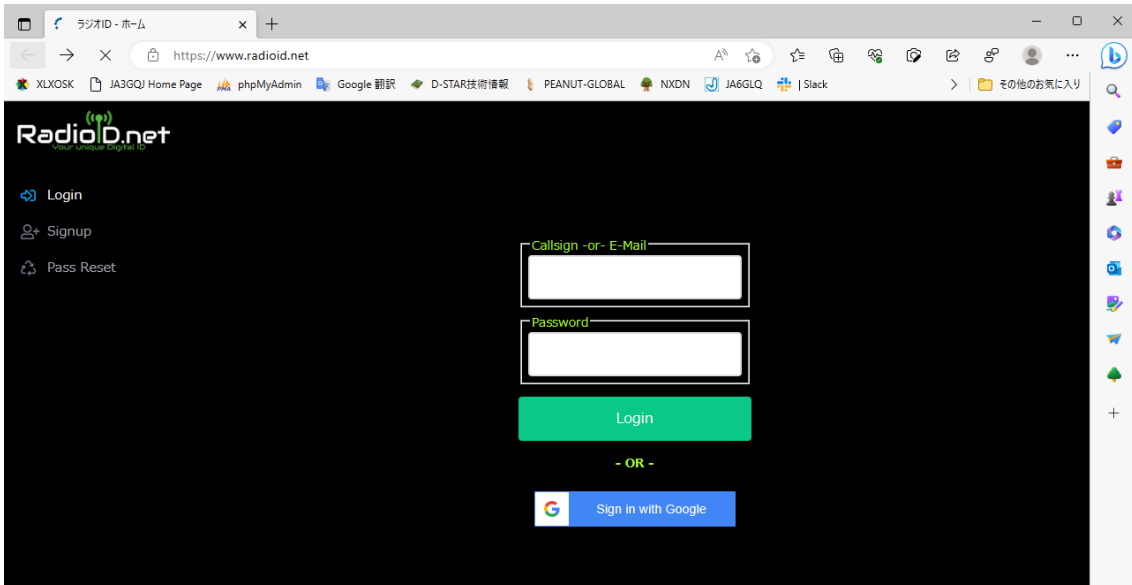
尚、スピーカの音量だけであればデスクトップ右下のスピーカーアイコンを左クリックしてポップアップするスライダーで調節できる。



APPENDIX-3 DMR id の取得

私が取得した時と取得（登録）方法が変わっているのので、「こうしたら」取得出来ると思われる以前は必要が無かった局免のコピーを送るところまでの手順を記録する。





ラジオID - 登録

https://radioid.net/account/register

RadioID.net

データベース 連絡先 FAQ 店舗 支える ログイン/サインアップ

意します。

(a) 登録のために、あなたが誰であるかを確認するためにより多くの情報が必要になる場合があります。

リピーター/ NXDN / キャパシティープラス登録(b)

- DMR **リピーターID**、**NXDN ID**、**キャッププラスID**はすべて、アカウント登録後に利用可能になります。(イ)
- 新しいアカウントを作成したり、リピーターを別のアカウントとして登録したりする必要はなく、コールサインでプライマリアカウントを作成するだけです。
- アマチュア無線ライセンスのコピーをアップロードしてから、サポートに連絡して、リピーター/ NXDN / Cap-Plusの割り当てを依頼してください。(イ)
- CAP-PLUS**は供給が非常に限られているため、私たちがそれを提供するにはかなりの理由が必要です。必要な場合は、サポートにお問い合わせください。(イ)

(b) キャパシティープラスIDはブランドマイスターのシステムでは動作しません。

私はそうしません。。。(以下を注意深く読んでください、失敗するとアカウントが削除される可能性があります!および/または生涯禁止!

- (アカウント/ DMR ID)を持っていると誤って思っていない場合、すでに持っている場合は、新しいコールサインを登録します。- よくある質問を見る
- 自分のアカウントでリピーターを登録します。- よくある質問を見る
- 私が政府発行のアマチュア無線コールサインを持つ認可されたアマチュア無線家でない限り、このサイトに登録してください。

私 あなたがそれを読んだかどうかにかかわらず、上記のすべてに同意してください!

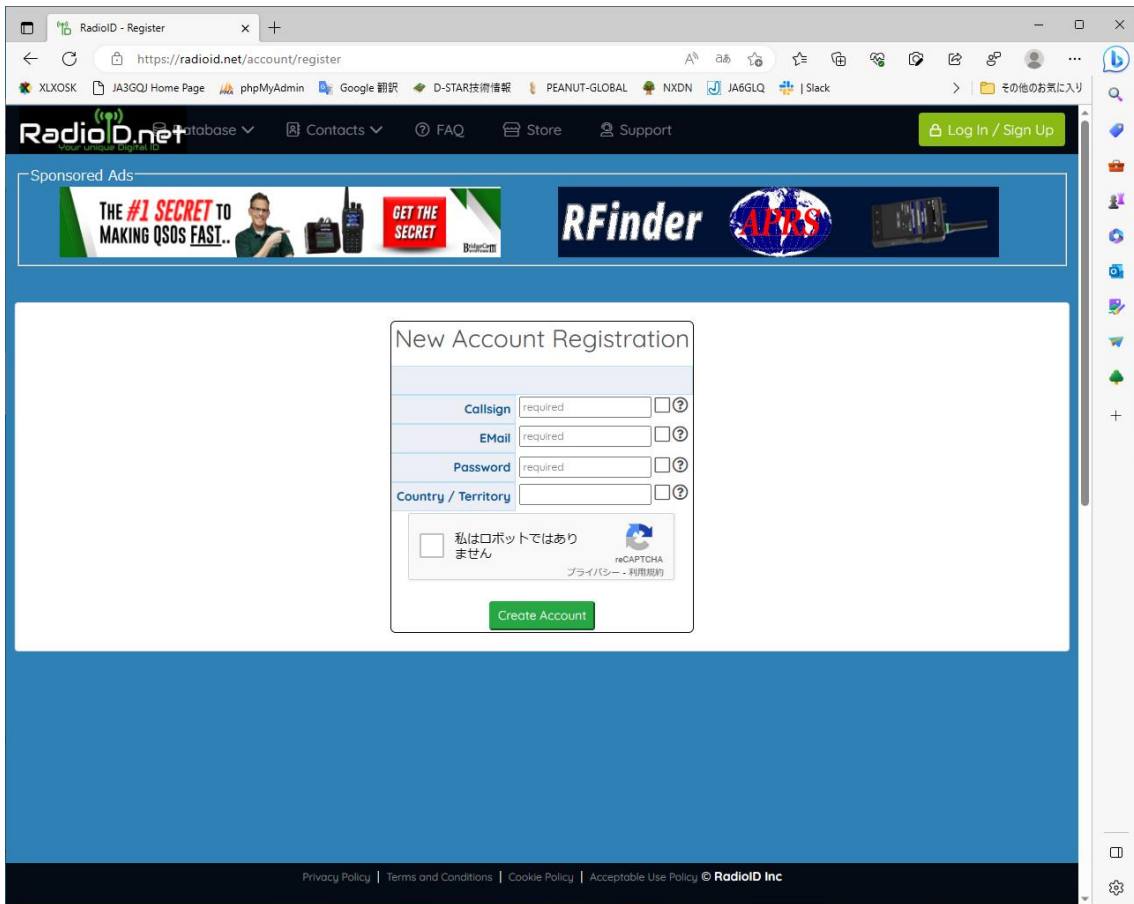
アカウント登録

プライバシーポリシー規約と条件クッキーポリシー利用規定 © 株式会社ラジオID

エラーが検出されました

利用規約とポリシーに同意してください、私は登録しません!

わかりました



New Account Registration

Callsign	required	<input type="checkbox"/>	?
EMail	required	<input type="checkbox"/>	?
Password	required	<input type="checkbox"/>	?
Country / Territory		<input type="checkbox"/>	?

私はロボットではありません

reCAPTCHA
プライバシー - 利用規約

Create Account

Email Verification Required

Please check your E-Mail to confirm you address, Once confirmed please return to this page.

OK



We have received a request to authorize this email address for use with an account on Radioid.net. If you requested this verification please click the verify link below.

[Verify E-Mail Address](#)

[Privacy Policy](#) | [Terms and Conditions](#) | [Acceptable Use Policy](#)


©Radioid.inc


Thank You

Verification is complete, please return to radioid.net to continue.
You will now be able to complete the next step.

New Account Registration

Callsign	<input type="text" value="JO3KLS"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?
E-Mail	<input type="text" value="jo3klssc@nifty.com"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?
Password	<input type="text" value="Jo3-cls-JO3KLS"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?
Country / Territory	<input type="text" value="Japan"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	?


私はロボットではありません



reCAPTCHA
プライバシー - 利用規約

保留中のライセンスのアップロード

アカウントが承認されると、メールで連絡があります。
メールが正しく、RadiID.net ホワイトリストに登録されていることを確認する スпам！

アカウント完了までの3つのステッププロセス:

- (1) 個人情報が正しいことを確認する 詳細は以下、 おそらくQRZ / FCCレコードからインポートされました
- (2) 登録・認証には正しい情報が必要です / ライセンスのアップロード。承認後、お客様はご自身のデータを管理することができます。
- (3) 下にスクロールして**ライセンスドキュメント**をアップロードします。(赤い線が残っていない後)
 - (*) **ライセンスのアップロード後に個人データ/ライセンスが確認されるまで、IDは割り当てられません。**
 - (*)このページに戻る必要がある場合は、**[サインイン]** ボタンを使用します。再登録!

アカウントプロフィール

国	日本
コールサイン	JO3KLS
名前	<input type="text" value="Shuji"/>
名字	<input type="text" value="Chiba"/>
都市	<input type="text" value="Takatsuki City Osaka"/>
州/州	<input type="text" value="何一つ"/>

プライバシーポリシー | 規約と条件 | キーボードポリシー | 利用規定 © 株式会社ラジオID

ラジオID - ダッシュボード

https://radioid.net/account/profile

XLXOSK JA3GQJ Home Page phpMyAdmin Google 翻訳 D-STAR技術情報 PEANUT-GLOBAL NXDN JA6GLQ Slack

RadioID.net データベース 連絡先 FAQ 店舗 支える JO3KLS

アカウントプロフィール

国	日本
コールサイン	JO3KLS
名前	<input type="text" value="Shuji"/>
名字	<input type="text" value="Chiba"/>
都市	<input type="text" value="Takatsuki City Osaka"/>
州/州	<input type="text" value="何一つ"/>
アドレス	<input type="text" value="jo3klscc@nifty.com"/>
アマチュアライセンスの有効期限 (YYYY-MM-DD)	<input type="text" value="2028-05-11"/>
コミュニケーション言語 (ベータ版)	<input type="text" value="英語"/>
ラジオID DMRニュースの最新情報を手入力してください。	<input type="checkbox"/>
スポンサーが私に連絡することを許可します(あなたのメールは共有されません)	<input type="checkbox"/>
他のメンバーからのバディメールを許可します(あなたのメールは共有されません)	<input type="checkbox"/>

セーブ

アカウントの完了に必要なライセンスのアップロード

**アップロードがサンプルと異なる場合 以下、または上記のようにあなたの名前/コールサインが含まれていない、それは拒否されます!
 *アップロードされた画像には、RADIOID.NET でのみ使用するために透かしが入ります

ファイルが選択されていません

ライセンスアップロード承認されたファイル(gif, jpg, jpeg, png, pdf-最初のページ)

コールサインがはっきりと見える元の政府文書が必要です。
 これは、あなたがライセンス所有者であることを確認する唯一の方法です。

プライバシーポリシー 規約と条件 ツッキーポリシー 利用規定 © 株式会社ラジオID